

光が丘清掃工場だより 第50号



ごみ怪獣カーネン

発行 東京二十三区清掃一部事務組合 光が丘清掃工場

所在地 東京都練馬区光が丘五丁目3番1号

電話 03-5967-1356

HP <https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp>



発行日 令和8年3月17日 印刷物登録 令和7年度 第127号

第76回運営協議会を開催しました

令和7年11月12日（水）に第76回光が丘清掃工場運営協議会を開催しました。

委員の皆様へ工場の操業状況や環境調査結果について報告し、海外視察受入実績や環境調査方法などについてご質問をいただきました。

また、光が丘消防署長より工場として救急業務及び救急医療に対する正しい理解と認識を深めていることを評価され「感謝状」を受領した旨を報告しました。

運営協議会の資料や環境調査結果の詳細は、当組合のホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



運営協議会の様子



感謝状受領の様子

今年度も多くの方々に清掃工場へ来場いただいています

光が丘清掃工場では中学生の職場体験を受け入れています。令和7年度は大泉西中学校、光が丘第一・第二・第三中学校の生徒に職場体験をしていただきました。

また海外からの見学・視察も受け入れており、今年度はオハイオ州立大学20名、マレーシア天然資源持続可能性省10名、アルメニア政府12名、インドネシア政府14名など、4か国56名の方が来場し、ごみの中間処理について学んでいただきました。



中学生職場体験の様子

定期点検補修工事を実施しています

当工場では、令和8年1月から3月にかけて2炉ある焼却炉を順次停止して定期点検補修工事を実施しています。

工事期間中は、焼却炉本体設備やボイラ設備を中心に設備内部の点検・補修といった焼却炉停止中にしかできない作業を行っています。また、労働安全衛生法や電気事業法などの関係法令により義務付けられている定期的な点検を併せて実施しています。

これらの取組により、焼却炉の安全かつ安定的な稼働の確保に努めています。



焼却炉内火格子の点検

焼却炉下部に敷き詰められた火格子が前後に動くことでごみをかく拌しながら燃焼と灰の送り出しを行います。

火格子の状態を確認するため、火格子間の隙間や損傷などが点検しています。



ボイラドラム内部の点検

ボイラドラムは、ごみを燃やした時に出る熱を利用して蒸気を発生させる設備です。

稼働中は高温高圧となるため、ボイラドラム内部の亀裂や腐食などの不具合がないか点検しています。

ごみを捨てる際は今一度ご確認ください

清掃工場には、ご家庭から収集された可燃ごみがごみ収集車によって運ばれてきますが、ごみの中に誤って貴重品等を混入してしまった事例が発生しています。

清掃工場へ運ばれてきたごみは、25mプールの10倍以上の大きさの約6,000 m³のごみがためられたごみバンカに入ります。酸素欠乏場所でもあるその中から貴重品等を探し出すことはできません。

ごみを捨てる際は今一度貴重品等が含まれていないか、十分にご確認ください。



ごみバンカ内の様子